

CSW68

ユース代表インタラクティブ・ダイアログの報告



鈴木りゆか

CSW68政府代表団ユース代表
国際基督教大学教養学部4年
政治学、ジェンダー・セクシュアリティ研究専攻

2024年5月15日@CSW68報告会

ユース代表 インタラクティブ・ダイアログ

- 昨年に初めてCSWの公式会合として認められる
- 加盟国のユース代表が優先テーマに基づき対話を重ねる

ステートメントの内容

- <代表性>の概念の再考の必要性
 - 日本や世界各国の政治分野における意思決定者の属性の偏りに対する指摘
- 意思決定の場から直接的／間接的に排除されている人びとの存在についての言及
 - <変化>をもたらす主体である
 - 意思決定の中心に在るべきである
 - 障壁の除去、経済的支援、マイノリティのエンパワーメントの必要性



[ステートメント発表中の様子 \(1:58:30~\)](#)
(出典: UN Women Advocacy & Innovative Lead)

ユースへの経済的支援の必要性

ユースへの経済的支援

- 日本: 航空運賃・宿泊費・生活費・交通費などの実費、原則自己負担
例) 約615,000円(18日間のNY滞在)

UN Youth Delegate Programmesがある加盟国の例(口頭調査の回答 - 2024年3月時点)

- アイスランド: National Youth Council、首相官邸による支援
- アメリカ、イタリア: 国内の国連協会による支援
- マルタ共和国: Ministry for Foreign and European Affairs and Trade (MFET) による支援

今後に向けて

- CSWユース派遣において、政府等からの経済的支援が必要である
- ジェンダー平等にかかる議題は、常に優先事項である
 - 「人権」の観点より、政治的イデオロギーにかかわらず推し進める必要がある
- 主要な意思決定の場から排除される若年層を意思決定の場へ！
“We are the future. The future is now.”

日本における UN Youth Delegate Programmeの導入、
そして、国内の被選挙権年齢の引き下げを求めます！